

日本発ドイツ便り：花を持ってお出迎え

意外に気が付く人は少ないのですが、ドイツの空港（Flughafen：フルークハーフェン）や中央駅（Hauptbahnhof：ハウプト・バーンホーフ）などの大きな駅には、必ずといっていいほど、目立つ位置に花屋さんがあります。（よく待ち合わせ場所になります）



これはフランクフルトの到着ゲート近くの花屋さん。

空港に花屋さん？と思われる方もいらっしゃるでしょうが、ドイツでは空港で花を持ってお出迎え。というのが珍しくないです。到着ゲート出た所で、花を持って誰か大事な人の到着を待っている人、というのを毎回見かけます。そのための花屋さんだから、到着ゲート近くにあるんですね。

人に花を渡す、というと、つい私たちは綺麗にラッピングされた「花束」を思い浮かべますが、ドイツでは、花束というよりは、薔薇とか季節の花を一輪だけ、というのが多数派かもしれません。ドイツではお花も安いので、茎が長くて、すごく立派な薔薇一輪でも2-3ユーロ位で買えます。小さな花束も5ユーロ位からあると思います。

あんまりラッピング、ということはないので、ちょっとリボンを結んでもらうとか、そのくらいで、基本は花一輪そのままです。（ラッピングは有料のところが多いです。そのかわり有料というだけあって、結構凝ったラッピングしてくれますよ。）

ドイツの空港で誰かを出迎える、という機会があるかどうか分かりませんが、私は以前、日本からのお客さん達を空港で迎えたとき、突然「そうや！」と思いついて、赤い薔薇（Rote Rose：ローテ・ローゼ）一輪づつ用意したことがあります。「ドイツ流お出迎え」、すごく感激されましたよ。

（もしそんな機会が巡ってくれば、是非花屋さんを使って、ドイツ流のお出迎えで、誰かをびっくりさせてあげてください！ ☺）

「そんな、花もらってもその後どうするの？」なんて心配は無用。ホテルでは頼めは花瓶を用意してくれますよ。



これは市場の花屋さんです。市場にも必ず花屋さんがあります。
数日同じホテルに滞在の予定なら、気に入った花を部屋に飾るのもいいですね。

ドイツ流お出迎え。でした。